

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	健康・社会
鈴木 了	○山田まりえ	開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

解剖学 I では、人体の基本的構造を全体的に理解する。器官・組織系、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、内分泌系、感覚器系、神経系についてそれぞれの形態・構造を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。
3. 主な骨格筋の名称、位置、作用を説明できる。
4. 主な筋の名称、位置、作用を説明できる。
5. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。
6. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。
7. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する器官の名称、位置を説明できる。
8. 尿生殖器系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。
9. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。
10. 身体の統合系として中枢・末梢神経系（自律神経系）の構造を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は講者・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは 組織学総論 細胞と四大組織	1	講義
			2	
2	骨格系	骨の構造と種類 骨の連結	3	〃
3	筋系	筋の構造と種類 主な骨格筋	4	〃
4	循環器系	血管とは 心臓 大循環と小循環	5	〃
5	内臓系 1	消化器系 呼吸器系	6	〃
			7	
6	内臓系 2	尿生殖器系 内分泌系	8	〃
			9	
7	感覚器と神経系	感覚器と神経系のあらまし	10	〃

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000年 5000円
参考書				
その他の資料	プリントを配布			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況・態度、筆記試験の総合評価	高校時代に生物を履修しなかった学生は「生物学入門」の履修を必須条件とします。